

桜の開花宣言が全国各地で聞かれる季節となりました。冬の寒さに耐えた桜が一斉に花を咲かせ、日本中が桜色に染まっています。華やかな季節の到来です。

桜の開花には「休眠打破」が必要だといわれます。一定期間、低温にさらされることよって「休眠」から目覚めるのです。

春は桜と同様に、人も開花に向けて動き始めます。新入生・新入社員は新たな気持ちで一步を踏み出す時であり、つばみから開花へ、静から動へと、大きく変わる季節といってもいいでしょう。

新入社員および若手社員を対象とした『ブラッシュアップ仕事術 若手社員へ贈る33の心得』がこの春、倫理研究所より発行されました。「ブラッシュアップ」には、磨き上げること。学問などの再勉強や鈍った腕や技の磨き直し。また、一定のレベルに達した状態からさらに磨き上げること」といった意味があります。

同書は「自分が今いる職場こそ、自分にとって最高の働きのある」という自覚を促すとともに、「習慣力」「仕事力」「人間力」を磨き高める内容で構成されています。

その中の「自分が働いている企業や団体の目的を知るマクワの視点を持つ」との項に、「何事であれ、目標や目的を明確に持つことが大切であることはいままでありません。何のためにこれをやるのか、はっきりと目標が描かれている場合と、そうでない場合では、取り組む姿勢にも大きな違いが出てきます」という一節があります。

目的を明確化させ 自身の仕事力を開花させよう



絵・わたなべじゅんじ

キーポイントは「何のために」です。案外この目的が不明確な場合があります。わが社は「何のために」事業を展開しているのか。それが企業理念です。

倫理法人会は「何のために」活動しているのか。それは「倫理法人会憲章」に記されています。

経営者モーニングセミナーは「何のために」開催しているのか。「経営者モーニングセミナー・マニュアル」に示されています。

肝心なのは「意義」と「方向」です。この目的がはっきりしていると、企業も団体も結束力が高まり思わぬ力を発揮します。それが「組織力」と「総合力」です。

私たち人間は、一人集まれば二倍の力が、五人集まれば五倍の力が発揮できるものと何となく錯覚しています。物は「1+1=2」になりますが、人は違います。二人が逆の方向を向いていれば、その合わせた力は「1+マイナス1=0」です。それぞれの方向がバラバラであるなら、集団は成り立たず崩壊してしまいます。「何のために」という目的が不明確であれば、自分に都合のいい捉え方や解釈をするからです。

逆に、やり方によっては「1+1」が2ではなく、それ以上の力を発揮する可能性を秘めているのが人間です。その要のひとつが「何のために」という目的を各人が共有することです。

桜の開花とともに私たち自身の働きの目的を明確にし、新たな気持ちで「静」から「動」へと勇躍していきましょう。